

令和元年度第1回小和田公民館運営審議会会議録

議題	1 令和元年度予算及び事業計画について 2 諮問について 3 その他
日時	令和元年5月8日（金）14時00分～15時30分
場所	小和田公民館2階 学習室1
出席者氏名 （敬称略）	会長 佐藤 敦恵 副会長 菊崎 彰朗 委員 青木 千賀子 杉本 誠 土田 厚子 豊田 泰治 v 譜久山 文野 事務局 館長 鈴木 俊也、主任 新倉 潤
会議資料	1 令和元年度小和田公民館歳入歳出予算内訳表 2 令和元年度小和田公民館事業計画 3 茅ヶ崎市立小和田公民館運営審議会に対する諮問について （参考資料） 1 平成29年度答申（地域づくりに公民館が果たす役割について） 2 社会教育課事業のまとめ抜粋（平成29年度、25年度、20年度） 3 小和田公民館運営審議会委員名簿
会議の公開・非公開	公開
傍聴者数	なし

（会議の概要）

●会長

令和元年度第1回小和田公民館運営審議会の会議を開催いたします。新たに委員となられた、譜久山委員1年間どうぞよろしくお願いいたします。委員の皆さまの任期は、あと1年ありますのでよろしくお願いいたします。今年度は、本日の議題にもありますように、諮問を受けて、答申を行う年となりますので、皆さまとともに、しっかりと取り組んで参りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

はじめに、議事録署名人につきましては、昨年度から名簿順でお願いをしていますが、今年もよろしいでしょうか。最初は青木委員からお願いして、その次が菊崎委員、杉本委員と名簿順でお願いします。

それでは、「議題1 令和元年度予算及び事業計画について」事務局より説明をお願いします。

●事務局

「議題1 令和元年度予算及び事業計画について」ご説明いたします。本議案につきましては、平成31年3月22日に開催した、平成30年度第4回審議会において提示させていただいたものの修正版となります。このため、変更点を中心に、説明させていただきます。

まず、「資料1 令和元年度小和田公民館歳入歳出予算内訳表」でございますが、3月22日時点では、予算確定前でしたので「案」でしたが、その後、確定したものであり、内容の変更はございません。

ん。

次に「資料2 令和元年度小和田公民館事業計画」をご覧ください。変わったところといたしましては、事業が一つ減っているところとなります。2ページ「4 社会的要請課題をテーマとした事業」をご覧ください。前回の時は、この中に「高齢者講座シリーズ～私の覚え書き書き方講座」と言った講座がございましたが、その後の精査の中で、現在の計画からは外したものでございます。それ以外については、事業名、内容、開催時期等の精査や表現の修正を行ったもので、大きな変更はございません。なお、本資料については、窓口等でも周知のため配布していく予定でございます。

●会長

説明が終わりました。何かご質問等ございますでしょうか。

●豊田委員

脳トレ教室「健康マージャン」について6月から9月実施となっておりますが、対象等は。

●事務局

基本的にいままで経験したことのない方を対象としています。男女、年齢も特に決めておりません。申し込みはこれからですが、既に60代70代の女性の方2～3人からお声をかけていただいております。先着順で16名の定員となっております、平日の昼間の時間帯としています。

●豊田委員

昨年、俳句の事業が平日だったのですが、土日でも良かったのではないかと思います。

●事務局

子供対象の事業ですと土日、あるいは夏休み期間、それ以外の事業は平日が多いこともあります。内容によっては、土日だったら大勢来られるようなら変更することもご意見のとおりのことですので、考えて行きたいと思います。あと公民館の部屋がどうしても最大でも1回の講義室で机を並べると50名から60名程が限度という問題もあろうかと思っています。人気の講座ですと60名以上の申し込みがありお断りしている事業もございますので、バランスをみながら実施して行くことも大事なのかと思います。

●豊田委員

おとう飯事業について 現在の申し込み状況は。

●事務局

実習室を使った事業ですので、調理台4台を使用してお父さんとお子さんということで、合計8組募集して、今現在7組ですので、小学生がいるお父さんがあと1組参加していただく方がおられましたらお願いいたします。どうしても普段あまり調理に慣れていないお父さんと一緒にやるので、1テーブル2組と限定させていただいております。

●豊田委員

公民館まつりについては、3月の第1週ですか。

●事務局

日程は、まだ決定していませんが、例年小和田公民館は、3月第1週で実施しています。実際には実行委員会とも相談することとなると思いますが、小和田公民館まつりは、3月第1週で定着しているので、それで行きたいと事務局内では話をしています。

●会長

なぜ3月なのかというと、受験シーズンへの配慮もあり、また中学生のボランティアを依頼するためにも少し限定されてしまうという部分もあると思います。

●事務局

今後、実行委員会が立ち上がったから、今の話を踏まえながら進めて行きたいと思います。

●会長

それでは、議題2に移りたいと思います。事務局から説明をお願いします。

●事務局

「議題2 諮問について」ご説明させていただきます。社会教育法第29条第2項には、「公民館運営審議会は、館長の諮問に応じ、公民館における各種の事業の企画実施につき調査審議するものとする。」と規定されております。平成29年度に小和田公民館では初めて審議会に諮問をさせていただき、答申をいただいております。その内容としては、「地域づくりに公民館が果たすべき役割について」といったことになり、その後の館の運営でも参考にさせていただいております。本日は、この前回の答申を参考資料として皆様のお手元に配布させていただきました。また、他の公民館でも2年に1度、審議会の委員の皆様の任期の2年目の時に、それぞれの館に応じた諮問をしております。

それでは、あらためて、「資料3 茅ヶ崎市立小和田公民館運営審議会に対する諮問について」をご覧ください。今回、諮問させていただくのは、「1 検討を要する事項」に記載のとおり「茅ヶ崎市立小和田公民館における、これからの主催事業について」になります。

理由といたしましては、「2 理由」に記載のとおりでございますが、一読させていただきますと「少子高齢化の一層の進行や人口の減少、グローバル化やIT技術の進展など、社会情勢は大きく変化しており、それらの影響を受け、地域に顕在化する課題もそれぞれの状況に応じて多様になっています。これまでも小和田公民館は、地域住民の皆様が身近で気軽に利用できる社会教育施設として、心豊かで活力に満ちた人づくり、地域づくりの拠点となるとともに、地域課題や市民ニーズに即した学習機会を提供する事業に取り組んでまいりました。これからも、地域の皆様にとって最も身近な学習拠点や交流の場として、部屋を貸し出す「貸館」と言ったことだけではなく、地域の特性や市民ニーズに応じた様々な課題を、その時々の実情に応じて一緒になって取り組んでいく必要があると考えています。また、地域の方たちによる、これまでの公民館での様々な活動が、次の世代の方たちにしっかりと引き継がれていくことが、持続的に地域が活性化し、地域力が向上することの一助になるとも考えています。このようなことから、茅ヶ崎市立小和田公民館における、これからの主催事業のあり方や事業展開について、調査審議をお願いするものでございます。」と記載させていただきました。

さらに、資料中の記載はございませんが、現在、本市では、総合的かつ計画的な行政運営の指針である「茅ヶ崎市総合計画」や、本市の教育が目指す基本的な方向性を示した「茅ヶ崎市教育基本計画」の新たな策定に向けた作業が進められ、令和3年度からは、それぞれ次の計画に基づいた施策がスタートし、公民館の事業もこれらを意識したものとなることが想定されます。また、これらの計画にぶらさがり、3か年を基本とした実施計画を合わせて策定することとなります。この実施計画の中には、今回の答申のご意見を踏まえたものとしてまいりたいと考え、この様な諮問としたものでございます。

なお、今回の諮問においては、小和田公民館の主催事業に幅広くご意見をいただくとともに、「(1) 茅ヶ崎市立小和田公民館の地域特性や立地特性を踏まえた主催事業について」「(2) 持続的に地域が活性化し、地域力が向上するような次世代を育成する主催事業について」にも触れていただきたいと考えており、「1 検討を要する事項」に追記しています。

なお、「答申希望日」といたしましては、今年度末となる、令和2年3月とさせていただきました。

また、これまでの小和田公民館の主催事業の参考とするため、「平成20年度 生涯学習課事業のまとめ」、「平成25年度 社会教育課事業のまとめ」、「平成29年度 社会教育課事業のまとめ」の小和田公民館のところを抜粋しているものをお配りしております。本当は、過去10年を5年ごとにご覧いただくため、「平成30年度 社会教育課事業のまとめ」をお渡ししたかったのですが、現在、取りまとめの作業中で間に合わなかったため、代わりに平成29年度をご用意しています。30年度分が取りまとめ次第、冊子となったものを後日、お送りしたいと思います。冊子をご覧いただければ、

他の公民館との比較もできるのではないかと思います。

中を少し見てみますと、平成20年度は33事業、その他出版事業や利用者懇談会との意見交換等を行っています。平成24年度あたりから、家庭教育支援事業、子ども事業、地域交流事業、地域・社会的要請事業、学習成果の還元事業、公民館ふれあい事業などと区分がなされ、平成25年度は、家庭教育支援事業5個、子ども事業が16事業、地域交流事業4事業、地域・社会的要請事業9事業、学習成果の還元事業3事業、公民館ふれあい事業が4事業の計41事業となっております。平成29年度は、家庭教育支援事業8個、子ども事業が12事業、地域交流事業4事業、地域・社会的要請課題をテーマとした事業14事業、学習成果の還元事業4事業、公民館ふれあい事業が6事業の計48事業となっております。

議題1でご説明した、「資料2 令和元年度小和田公民館事業計画」をご覧ください。平成31年度は、50以上の事業を実施しております。特に、3ページ「7 次世代育成ネットワーク事業」をご覧くださいなのですが、ここに掲載している事業が1事業となり、少し少ないと認識しており、先ほどの(2)に繋げていただきたいと思います。

●会長

質問等はございますか。前回の時にも参加していましたが、公民館の果たすべき役割についてと言うことで、ざっくりした感じの題名だったので、みなさん自分たちの立場で、私であれば青少年育成推進協議会(青推協)から出ているので、青推協ではこのように利用させてもらって、こうなればという感じで答申していたのですが、今回もそれに近い感じで、自分たちが現在感じていること、これからこうした方が良いのではないかとということを感じています。

●事務局

前は、広い意味のテーマでしたが、今回は公民館が主催する事業について少し落とし込んだ感じで、会長の言われたように、それぞれのお立場がありますので、その面からのご意見等いただければと思います。また、その中に先ほどお願いした地域の特性ですとか次世代の育成等の視点を入れていただければ、より良いのではないかと考えております。進め方については、参考までに、2年前の前回の時は、1回目の時に諮問し、2回目の1週間ぐらいまでに原稿用紙1、2枚ぐらいで、各委員のお考えを出しいただき、それを資料として2回目の会議で意見交換し、3回目で冊子の原案としてまとめ、4回目のときに原案をさらに精査して最終的に答申の形にしたと言った流れのようです。

●会長

では、今回も前回同様な形で進めますか、それとも別の形でどのような形で進めたほうがよいでしょうか。

●事務局

全部で4回という限られた回数の中ですので、この会議の中で終わらすのは難しいと思われますので、2年前のやり方もある程度よいのかと思われます。まとめ方が、冊子がよいのか1、2枚のまとめでよいのかは、最後でよいと思います。先ほど会長が言われたように皆さまそれぞれのお立場での考えを一度書いていただき、2回目で意見交換とともに集約する感じでどうかと思います。

●会長

では次回までに1回書いてもらうということで良いですか。

●事務局

委員の皆さまにご負担をおかけして申し訳ありませんが、1週間ぐらい前ぐらいにお出しいただき事務局で資料を作成してお配りしたいと思います。

●会長

次回はいつでしょうか。

●事務局

7月11日（木）を予定しています。

●会長

文字数はどのくらいが良いでしょうか。

●事務局

400字から500字くらいでどうでしょうか。

●会長

それでは7月5日ぐらいまでをお願いします。内容としては、地域の特性や次世代の育成を踏まえたうえでの主催事業について、小和田公民館ならではの事や今後どうしたら良いかということでしょうか。次世代を育成する事業については、なにか案があればということをお願いします。

●事務局

まずは、皆様が所属している団体からの視点でかまいません。そのうえで可能であれば、地域の特裁、次世代の育成の視点をプラスしていただければ、ありがたいと思います。

●会長

次世代に関しては、今年度では次世代育成のネットワーク事業ということで、ボランティア事業が入っていますが、次世代の育成といってもピンとこないのですが。他の館で何か参考となる事業はありますか。

●事務局

例えば、大学生のインターンシップ等を受け入れた事を事業としてあげている館もあります。他の館も苦慮しているところだと思います。市の3年ごとの計画で、次世代育成でどのようなことを考えていたかと言いますと、少子高齢化、核家族が進む中で、世代間交流が希薄になっている、世代間の関係性が構築されることにより地域の活性化や地域の魅力があがるのではないかと、高齢化に伴う伝統文化を継承する次世代の育成が不足しているのではないかとということで、地域の小中学生などと連携して公民館においてボランティアですとか様々な体験をする事業をして行こうというのが、この次世代を育成する事業の基になっているものです。子ども事業との切り分けも難しい面もあるかと思いますが、世代間の交流ですとか上の方から下の方へ文化をはじめいろいろなものを引き継いでいく、小中学生が地域で活躍できるような場をつくって行こうと言うのがこの事業だと考えています。

●会長

このボランティア事業で、おもしろいっぱい遊び空間で、青推協も関わっている事業ですが、それ以外にも、お掃除隊でも小学性のボランティアがありますが、そういう事も次世代育成の中に含まれることになりますか。

●事務局

そのように、現在の事業の中にちりばめられているものを、凝縮してスポットをあてるというものだと思います。

●会長

食生活改善推進団体さんが子どもたちに教えるというのは、また違う別の事業になりますね。中学校の料理クラブに協力を仰ぐというのは、次世代育成になりますか。

●事務局

たとえば食生活改善推進団体さんがそう言う事業をやっていれば、それを発展させて公民館の事業としてなりたつのではないかと提言をいただければよいのかと思います。

●会長

小学生に教えるのを中学生の料理クラブに食生活改善推進団体さんが教えていました。

●青木委員

昔は役員が関わっていたのですが、今は地域の私たちは関わっていない状況です。

●譜久山委員

松浪中学校のふれあい事業のことですか。

●青木委員

ふれあい講座は今料理だけですか。

●会長

他にもいろいろあります。青推協も関わっています。

●土田委員

公民館で活動していた団体が学校で教えるようになり公民館から離れていくようになりました。

●事務局

公民館で活動するだけでなく、色々なものがあればあげていただければ参考になりますし、ここでやらなくてはいけないものだけではありません。他との連携や外に出て何かやることも考えられます。

●会長

おもしろいっぱい遊び空間で言いますと、館内を小学生に開放して、各部屋ごとに工作やゲームなどをやって、中学生のボランティアにこちら側で教えて手伝ってもらっています。

●土田委員

それは公民館まつりでもお茶を立てたりしています。社会福祉協議会でもボランティアをお願いしてやっています。

●会長

それぞれの団体で公民館という事でなくても、地域としては、次世代の育成ということはやっています。

●青木委員

令和になって万葉集とかがよく言われていますので、そこにスポットをあてて、子どもたちに教えるのも良いのではないかと思います。スマホで調べるのではなく、自分でやってみて他の人のも聞いてみるのもよいのでは。俳句などの公民館を使っているサークルの方を交えても良いのではないのでしょうか。

●事務局

他で活動等、色々な形があると思いますので、それを次までに持ち寄れば、何か一つの形が見えてくるのかと思います。

●会長

公民館でやっていることとは別に、それぞれの場所でやっていることを書いてきてもいいのではないのでしょうか。

●事務局

それを公民館にどう落とし込めるかとか、そういう議論も出来るかと思います。

●会長

それでは、そういったことを400字から500字くらいでよろしいでしょうか。それでは、「議題3 その他」の（1）茅ヶ崎市公民館運営審議会委員連絡協議会について、及び（2）第2回小和田公民館運営審議会の日程についてに移ります。

●事務局

その他について2点まとめて、ご説明させていただきます。

はじめに、「（1）茅ヶ崎市公民館運営審議会委員連絡協議会について」でございますが、本協議会

は小和田をはじめ、市内の5館の審議会の委員35名で構成された組織となります。この協議会の会長や事務担当の公民館は1年ごとに順番で行っており、記念すべき令和の初年度が小和田公民館が当番の年となります。このため、茅ヶ崎市公民館運営審議会委員連絡協議会の会長を佐藤会長に、副会長を菊崎副会長に、また、幹事につきましては、前年度に引き続き、土田委員にお願いしたいと考えております。また、この連絡協議会の会議の次の日程が、5月31日金曜日の午後2時からを予定しております。3月の前回の本審議会の中では5月28日を予定しているとお話しさせていただきましたが、庁内で調整を図ったところ、この日での開催となったものでございます。日程が変わってしまい申し訳ございませんがよろしくお願いいたします。

次に、「(2) 第2回小和田公民館運営審議会の日程について」でございますが、先ほどもお話しさせていただいたとおり、7月11日木曜日、午後2時から開催したいと考えております。

●会長

質問等はございますか。

●菊崎副会長

神奈川県公民館大会の場所等は、決まっていますか。概要がわかりましたらお願いします。

●会長

昨年度の資料では、愛川町だったと思います。次回は、マイクロの方が良いのですが検討をお願いします。また1月7日の予定で研修もありました。

●事務局

詳細が分かりましたら、あらためてお知らせいたします。

●菊崎副会長

公民館ふれあい事業の健康ハイキングに先日参加させていただきましたが、山歩き等でもしもの時を考えて健康保険証を持って来ることを配慮したほうがよいのではと感じました。

●事務局

今後の参考とさせていただきます。

●会長

その他ないようでしたら、本日の審議会を終了いたします。次回7月11日14時からを予定しております。あと5館の連絡協議会が5月31日に変更になりましたので、お間違いのないようお願いいたします。1年間よろしくお願いいたします。